

うそつきの ひつじかい

うそつきの ひつじかい (イソップのおはなし)

むかし、ひつじの ばんを する 男の子が
いました。

ある 日、男の子は たいくつに なって、「おおかみが
きたぞ。」と うそを つきました。

村の 人たちは あわてて かけつけましたが、
おおかみは いません。男の子は わらいました。

男の子は、なんども おなじ うそを つきました。

ところが ある 日、ほんとうに おおかみが やって
きました。

「おおかみが きたぞ。たすけて。」

けれども、村の 人は だれも しんじて
くれませんでした。

1 男の子は、なんの ばんを して いましたか。

の ばん

2 男の子は、どうして うそを つきましたか。

ア おなかが すいたから。

イ たいくつに なったから。

ウ おおかみが こわかったから。

3 ほんとうに やって きたのは なんですか。

4 さいごに、村の 人は どう しましたか。

ア すぐに たすけに きた。

イ だれも しんじなかった。

ウ いっしょに わらった。